

# 『吉崎復興』計画策定と具体化の方途

## 1 はじめに

昨年 11 月 19 日に本堂緊急営繕工事完了・御本尊御移し法要を執行以来、5 月の御忌法要までに数千人規模のご参詣をお迎えできたことは、『吉崎復興』のスタートを切るに相応しい環境確保のための柱の一つを立てることができたと認識しています。

吉崎別院は、従来から定められている崇敬区域の僧侶・門徒によって護持されることを基調としつつも、単に一別院としての制度上の枠を越えた運営を指向するべきであると考えています。すなわち、広く御同朋御同行の皆様に対し、吉崎別院が現代社会に存立する社会的・宗門的意義を宣説し、様々な教化伝道と学習の場を通して、その視点を明示して弛みないはたらきかけを講ずる必要があります。併せて、広く現代社会に対して、真宗の生活文化をベースとしたメッセージを発信することができる、吉崎ネットワークを構築する準備を進めていきます。これは、蓮如上人の御影道中お立ち寄り会所寺院をはじめ、上人の教化によって創設された各地の真宗寺院や史跡を繋ぐネットワークを再構築し、本願にめざめるメッセージを発信できるはたらきかけの中心機能を回復しなければならないと考えています。この具体化によって、常にあらたな人の繋がりを生み出すことができるようになることが第一義であります。

このことを踏まえ、『吉崎復興』事業を推進するときは、本願寺を「真宗本廟」として敬仰護持してきた聞法者の負託に応えて、自ら大谷本願寺御影堂留守職として御同朋御同行の交わりの中で、宗祖親鸞聖人の立教開宗の本義を闡明して真宗再興を成し遂げられた蓮如上人の「吉崎坊舎」の今日的意義を明らかにすることを基本課題にしてまいります。

## 2 『吉崎復興』計画策定のための事業項目

『吉崎復興』計画策定のための事業項目の柱は次のとおりです。

- ◆ 吉崎ネットワークの再構築を推進し、新たな人の繋がりを創造する。
- ◆ 吉崎坊舎の史跡を大切にしようとする地域の官民関係者との連携を図り情報収集を行うとともに、共同事業を模索する。
- ◆ 吉崎別院境内総合整備計画を策定し、無理の無い募財計画の進捗状況に応じた営繕工事を推進する。

## 3 吉崎ネットワークの再構築

### (1) 蓮如上人御影道中お立ち寄り会所寺院とのネットワーク

すでに、浄土真宗ドットインフォで一部公開されているように、寺院を中心としたお立ち寄り会所の位置を含む道中の全ルートを、グーグルマップを活用し（別紙1）、本年の日程と併せてその風景や関係者のコメントを写真と動画を添えて（別紙2）発信しています。この内容は、毎年積

み重ね方式で、場合によっては過去の写真なども加えて拡張・充実したものに成長させていただきます。そのためには、宗務機関だけの対応に留まらず、むしろ現場当事者の投稿によってより主体的な参画が得られるよう願っています。

様々な問題を抱えてきている御影道中ですが、関係者で課題を共有して、たゆまぬ工夫と更なるご尽力をいただきながら、今年の第 344 回御影道中を目指してまいります。なお、この企画を実施するに当たり、関係寺院にご送付したご挨拶・お願いの書簡は、別紙 3 のとおりです。

## (2) 蓮如上人の教化によって創設された各地の真宗寺院や史跡を繋ぐネットワーク

特に、蓮如上人が吉崎に坊舎を建立され北陸教化に力を尽くされた時代に、深い御縁と由緒を有する各地の寺院や史跡を繋ぐネットワークの構築を指向しています。これによって、真宗再興を成し遂げられた蓮如上人の「吉崎坊舎」を拠点として教化伝道された足跡を学び、その今日的意義を明らかにしようとする新たな人の繋がりを構築してまいります。目下一部関係寺院にも直接面談・打診し、その具体化の可能性と共有できる有効性を検討していますが、今後は、この企画実施に当たり、北陸連区 7 教区の教務所のご協力も得て、関係寺院宛て書簡（別紙 4）をもってご挨拶・ご提案をいたしてまいります。

#### 4 吉崎坊舎の史跡保全・活用の共同事業を官民関係者と連携し模索

去る4月21日、橋本達也あわら市長を表敬訪問し、約1時間にわたりこれからの吉崎の活性化についてそれぞれの立場から意見交換を行いました。その際、同市長は『宗教文化』ということに触れ、「嶺北の美しい自然環境とともに人々の豊かな生活基盤は、経済や社会保障といった行政の施策を越えて長い年月を経て培われた宗教文化が果たしてきた役割は大きいと思う。市としても芦原温泉や越前海岸等を目玉にした観光行政を推進する上で忘れてはならないのは、地域に生きる人々の生活の中に染み着いた『宗教文化』をクローズアップすべきであると考えている。特に吉崎東別院の御忌法要を中心とした蓮如上人の御影道中を大きく取り上げていきたい」と語られました。市長の意向を受け、同市観光課とも連携し、様々な写真や動画の提供を受けて吉崎別院のホームページで活用させていただけることとなりました。また、同市長は石川県加賀市長代理と共に、去る4月23日御影道中吉崎到着のお迎え・参道列に参加いただいております。

一方、吉崎町公民館の田嶋直和館長との連携を密にし、同氏が会長を務める「吉崎町語り部の会」の協力を得て、吉崎別院団体参拝の方々に対し、吉崎坊舎の史跡ご案内等に絶大なご協力をいただいている。

なお、10日間にわたる御忌法要中には、同町振興会主催の「GOBOU市」の協賛、同町自治会の協力、同町消防団の見回り、地元警察の交通安全防犯取締等々、地域との連携を図り、今後の様々な共同事業の企画立案を模索する環境づくりに力を入れていく所存です。

## 5 吉崎別院境内総合整備計画を策定・推進

### (1) 吉崎別院境内総合整備計画策定の基本姿勢

『吉崎復興』事業を推進に共感する人の繋がりを様々なネットワーク構築を通して具体化する中で、自然な流れの中で吉崎別院の境内を整備するための総合計画の具体化と実現は不可欠であります。既に述べたように、御同朋御同行の交わりの中で、宗祖親鸞聖人の立教開宗の本義を闡明して真宗再興を成し遂げられた蓮如上人の、「吉崎坊舎」を中心として教化伝道にご苦勞された『場』の今日的意義を明らかにすることを基本として、これに相応しい本堂を中心とした施設の保全と境内環境整備を行うに当たっては、往時を偲び何も無かった吉崎に寺内町がたちどころに形成されていったその姿に学び、これに関わる者（教区・組・寺院・門徒並びにその他任意団体）の主体的参画を尊重しつつ、着実に進めなければならぬと判断します。

### (2) 吉崎別院境内総合整備計画案

昨年の本堂緊急営繕工事に合わせて、当時設計監理業務をお願いした山下社寺設計（代表山下幸雄）に総合調査を依頼し、昨年末までに着手すべき必要最低限度の工事内容と概算額の報告を受けています。その内容は次のとおりです。

① 鐘楼堂屋根瓦葺き替え工事 (すでに一部の瓦落下事故があり危険な状態を放置できない緊急性があるため)	3,696,781 円
② 本堂内装・外装改修工事 (雪・暴風囲いを含む)	69,899,557 円
③ 本堂耐震補強工事	39,351,422 円
④ 本堂火災報知器・非常用照明誘導灯新設工事	5,870,000 円
⑤ 蓮如上人仏堂シャッター取り替え工事	1,166,000 円
⑥ 境内雨水排水計画工事	5,958,370 円
⑦ 三味線婆石碑周辺整備 (ブロック塀解体含む)	3,612,008 円
⑧ 会館浴槽補修工事	3,320,460 円
⑨ 会館玄関ポーチ屋根取り換え工事	1,644,528 円
⑩ ①～⑨の設計監理費	9,196,000 円
合計	143,715,126 円

この他に、境内を使用する上での安全確保と機能充実を目指し、次の事業・工事を行うべきであると考えています。

⑪ 山門東側車路の拡張工事に伴う用地買収	〇円
⑫ 別院会館南東隣接公民館の駐車場借用と同館裏側車路新設工事	〇円
⑬ 本堂南側傾斜地 (雑木林) の土止め排水土木工事	〇円
⑭ 庭園整備	〇円
⑮ 寺宝館・太鼓堂の修復工事	〇円
⑯ 参道階段及び石畳・石垣の改修工事	〇円

先ず募財に当たって、「吉崎別院本堂修復・境内総合整備計画推進資金」と称する基金の設立を行い、これに、各方面からの寄付金を積み立ててまいります。

### （３）境内整備に必要な経費の募財計画と事業の進め方

寄付金の勧募は、先ず第一に吉崎別院の護持興隆に力を尽くしてこられた任意の団体の中で、すでに蓮如講からは本堂・式台の雪囲いの改修工事を指定し、２５０万円の寄付申し出をいただいています。この工事は前項②の中に含まれるものでありますから、この寄付金は一旦「吉崎別院境内総合整備計画推進資金」に繰り入れさせていただき、順次工事計画に従い着工させていただくこととなります。このようにその他の任意の個人団体からの寄付申し入れを積極的に受け入れ、寄付者のご意向をできるだけ尊重しながらお取扱いさせていただきます。

第二に、福井別院の所属門徒の皆様からは、昨年度から毎年１戸１,０００円の秋初穂志をご納付いただき、８６０世帯分８６万円を１０年に亘り１千万円を目標に積み立てていただくことになりました。

第三に、すでに昨年から本堂内の賽銭箱の一つを利用し、「本堂修復寄付金箱」を設け、個人団体の参拝者に対し寄付金のお願いをさせていただいております。特に団体参拝の募集を積極的に行いながら「吉崎復興計画」の趣旨をご説明し、ご賛同いただいた方々から積極

的なご寄付をいただく所存です。

第四に、福井・大聖寺・小松の3関係教区に打診し、教区全体としての計画にご賛同いただき、各教区のご意向を尊重して当該教区の会計の中から応分のご助成をお願いできないかと考えております。これにより、3教区挙げてこの事業にご参画いただく態勢を整えさせていただきます。

第五に、来年3月号の『同朋新聞』において、見開き特集を企画して御影道中並びに御忌法要を掲載しご参拝を呼びかけるとともに、「吉崎復興計画」の趣旨をご説明し、ご賛同いただいた方々から積極的なご寄付を郵便振替等を活用して送金いただく所存です。

これらの寄付金の勧募については、院議会の議決を得て宗務総長の承認手続きを完了した上で違戻なく進めてまいります。

資金の積立の年次計画は、特段立てずに行います。その理由は、目標を2億円としつつも、教区や組並びに寺院に割り当て額を当方から一方的に定め押しつける様なことは考えていませんので、関係者の皆様からご賛同を得て無理なく主体的にご収納いただくべきであると考えているからであります。

#### 別冊資料一覧

- 1 浄土真宗ドットインフォ グーグルマップを活用した道中の全ルートと日程（別紙1）
- 2 浄土真宗ドットインフォ 御影道中の様子や風景並びに関係者のコメント・写真・動画（別紙2）
- 3 御影道中お会所会所寺院に宛てたご挨拶・お願いの書簡（別紙3）
- 4 蓮如上人の教化によって創設された各地の真宗寺院や史跡を繋ぐネットワーク構築にあたっての関係寺院に宛てたご挨拶・お願いの書簡（別紙4）